

モンゴルの「化石カ」お見逃しなく!!

大人 ~~1,200円~~ → 1,100円

高校生・大学生
~~800円~~ → 700円

※当日券をお買い求めの際、この割引券を特別展「発掘!モンゴル恐竜化石展」会場入りのチケット売り場でお渡しください。

※本券でのご入場はできません。

※本券1枚で4名様までご利用いただけます。

1 展示標本のほとんどが実物! そして日本で初公開される化石も多数

モンゴルの恐竜化石の所有権はモンゴルに帰属するため、国内でモンゴルの実物恐竜化石を見ることができる博物館はほとんどありません。また、モンゴルでは細部までよく保存された、非常に状態のよい化石がたくさん見つかっています。本展では、その発見に世界が驚嘆した「プロトケラトプスの集団幼体化石」や、ティラノサウルス科の幼体の化石では世界で最も保存状態のよい「子どものタルボサウルス」など、実物の恐竜化石を多数見ることができます。



格闘する恐竜

植物食恐竜プロトケラトプスと肉食恐竜ヴェロキラトルがからみあっている様子がそのまま化石に残っている。

2 ゴビ砂漠の多様な化石産地を紹介!

広大なゴビ砂漠には、化石産地が点在しています。本展では、地層ができた時代や当時の環境別に7つの発掘地を取り上げ、化石はもちろん、発掘地ごとに異なる風景や発掘の様子なども紹介します。中生代 ジュラ紀後期から白亜紀後期、そして恐竜絶滅後の新生代 始新世後期にかけて、アジアにどのような世界が広がっていたのかを明らかにします。

プロトケラトプス幼体

幼体15頭の集団化石。小さくてもろい「赤ちゃんの骨が残ることは珍しい。」

3 ゴビ砂漠の化石が伝えるもの: いろいろな研究トピックを紹介!

モンゴルの保存のよい化石は、多くの情報を含んでいます。子どもの化石からは「恐竜の成長」について、足跡化石からは「恐竜の行動や姿勢」、そして、頭骨化石をCTスキャンで調べることによって「恐竜の脳のかたちの復元」についてなど、さまざまな角度からの研究を紹介していきます。



タルボサウルス

ゴビから見つかる最大の肉食恐竜。今回は幼体も一緒に展示中。



タッチ標本コーナー

本物の化石に触れるタッチコーナーや楽しいイベントを開催中。

講座
イベント
の案内

モンゴル恐竜化石展・ギャラリートーク

「発掘!モンゴル恐竜化石展」~ゴビ砂漠の恐竜化石はなぜ古生物学者を惹きつけてやまないのか?~。その理由をテーマに、大阪市立自然史博物館学芸員によるギャラリートークを実施します。

日時 5月11日(土) 11:00~ 大阪市立自然史博物館 川端学芸員

5月18日(土) 11:00~ 大阪市立自然史博物館 林学芸員

会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(特別展会場内)

参加費 無料。ただし、特別展入場には、特別展入場料が必要。

申込 事前申し込み不要。

参加希望者は開始5分前までに特別展会場入口付近に集合してください。

※会場混雑時には、やむなく中止となる場合がありますのでご了承ください。

詳細は「発掘!モンゴル恐竜化石展」のHP (<http://www.gobidinosaur.com/>) をご覧ください。

◆学芸員のおススメコレクション◆

天王寺動物園 ファンボルトペンギン

動物園の中の鉄板人気者のひとつにペンギンがあげられます。当園ではオウサマペンギンとファンボルトペンギンの2種類のペンギンを飼育していますが、ファンボルトペンギンは日本と変わらない気候帯(南米の沿岸地域)に分布しているので、一年中屋外で飼育されています。ファンボルトペンギンは胸に1本の黒帯が入っているのが特徴ですが、去年生まれの子どもペンギンは体格こそ親と同じですがまだ胸の黒帯がなく、体色も濃いグレーです。ペンギンは年に1回換羽(かんう)するので、子どもペンギンも次の換羽で親と同じ黒帯が入ってしまいます。換羽は6月頃の予想なので、今しか見れないおススメコレクションです。(天王寺動物園獣医師 今西隆和)

※北園にあるペンギン舎で見る事ができ、冬場はオウサマペンギンが同居しています。ワシントン条約付属書Iに掲載された絶滅危惧種で、国際商取引が原則禁止されています。

天王寺動物園 所在地 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108

TEL) 06-6771-8401 FAX) 06-6772-4633 アクセス) 御堂筋線「動物園前」、堺筋線「恵美須町」駅から

約500m ホームページ) <http://www.jazga.or.jp/tennoji/>



ファンボルトペンギン(左:成鳥 右:幼鳥)

